

## 学校法人 金沢医科大学 平成19年度決算

学校法人金沢医科大学の平成19年度決算が、去る5月29日(木)開催の第195回理事会及び第103回評議員会において承認されました。その概要及び収支等の状況は次のとおりです。

### 1. 概要

私学を取り巻く厳しい経営環境が続く中、平成19年度は、看護学部の開設及び金沢医科大学氷見市民病院の指定管理者としての開設準備をはじめ、前年度から実施された医学部特別奨学金貸与制度の継続、高度先進研究機器の整備、病院施設の整備などの事業を実施しました。同時に、海外交流事業や医学部奨学事業の推進のための積立てや、将来の退職金債務に備えるための資金確保についても予定額の積立てを行いました。

収入面では、医療収入は前年度より1.7%増の169億円を確保し、学納金や資産運用収入などで増収になったこと等により、帰属収入合計は前年度比3億円増の252億円となりました。

また、支出面では、人件費及び教育研究経費が増となったこと等により、消費支出合計は前年度を2億8千1百万円上回る242億1千万円となりました。この結果、帰属収入から消費支出を差引いた収支差額(正味財産増加額)は9億8千9百万円の収入超過という結果になりました。

### 2. 消費収支計算書の状況

#### 【主な収入】

#### (1) 学生生徒等納付金

看護学部の開設等により、前年比1億7千1百万円増の45億8千3百万円となりました。学生数は、医学部生659名、大学院生64名、看護学部生64名、看護専門学校生106名の合計893名です。

#### (2) 寄付金

寄付金総額は、前年比1億1千6百万円減の7億3千5百万円となりました。

特別寄付金は、寄附講座への指定寄付金で1千万円となりました。

一般寄付金は、19年度医学部入学生からの教育振興資金寄付金が2億9千6百万円、学術振興基金制度によるものが4億1千3百万円の合計7億1千9百万円でした。

現物寄付金は、科学研究費補助金で購入した研究機器の受入れ等で1千6百万円となりました。

#### (3) 補助金

補助金総額は、前年比1億円減の14億2千9百万円となりました。

そのうち、私立大学等経常費補助金は前年比1億6千7百万円増の11億2千万円となりました。文部科学省研究装置・設備補助金は医用画像情報システム装置など10件で、2億2千4百万円が交付されました。

そのほか臨床研修費補助金4千6百万円及び地方公共団体ほかからの補助金3千9百万円が交付されました。

#### (4) 医療収入

医療収入総額は、前年比2億8千2百万円の増、当初予算比9千2百万円の増となる169億9千5百万円となりました。

入院収入は、入院延患者数が前年比2.0%減少、病床利用率が83.0%と前年比1.8ポイント減少しましたが、7対1看護の実施等により診療単価が前年比2.1%上回ったこと等により、前年とほぼ同額の128億8千4百万円となりました。

一方、外来収入は、診療単価が増えたほか、外来延患者数が前年比1.0%増加したこと等により、前年比2億9千1百万円増の41億1千1百万円となりました。

なお、医療収入の帰属収入に占める割合は67.4%(前年度67.1%)となりました。

### 【主な費用】

#### (1) 人件費

教員人件費は前年比1億9千4百万円増の36億6百万円、職員人件費は前年比3千7百万円減の70億8千8百万円、役員報酬は前年度と同額の7千万円、退職給与引当金繰入額及び退職金は前年比2千6百万円減の6億9千1百万円となり、人件費総額では前年比1億3千1百万円増となる114億5千5百万円となりました。また、退職金支出は、定年及び早期退職制度による退職等を含め、147名に6億7千7百万円を支出しました。

なお、人件費の帰属収入に占める割合は45.5%(前年度45.5%)となりました。

#### (2) 教育研究経費

事業計画に基づく教育研究事業を実施した結果、教育研究経費は14億9千8百万円となりました。

#### (3) 医療経費

減価償却額を除いた比較では、前年とほぼ同額の82億1千5百万円となりました。薬品費等が7千7百万円の増、医療材料費が4千4百万円の増となりましたが、その他の医療経費で1億3千7百万円の減となりました。

なお、医療経費の医療収入に占める割合は48.3%(前年度49.1%)、帰属収入に占める割合は32.6%(同33.0%)となりました。

#### (4) 減価償却額及び処分差額等

減価償却額及び資産処分差額の合計額は、前年比3千8万円増の25億7百万円となりました。このうち、病院部門の減価償却額は、病院本館、別館及び新館、第二新館の建物・医療機器等の償却額を含め、前年比1億6千9百万円増の16億5千3百万円となりました。

また、医療収入における患者負担未収金について、18年度から徴収不能引当金を設けたことに伴い、徴収不能引当金繰入額1千6百万円を計上しました。

消費収支計算書

(自)平成19年4月1日

(至)平成20年3月31日

(単位：百万円)

消費収入の部			消費支出の部		
科目	金額	前年比	科目	金額	前年比
学生生徒等納付金	4,583	171	人件費	11,455	131
手数料	158	1	教育研究経費	1,498	176
寄付金	735	116	医療経費	8,215	2
補助金	1,429	100	管理経費	535	65
資産運用収入	970	128	借入金等利息	0	1
事業収入	207	28	減価償却額及び		
医療収入	16,995	282	資産処分差額等	2,507	38
雑収入	122	94			
帰属収入合計	25,199	300	消費支出の部合計	24,210	281
			(正味財産増加額)	(989)	(19)
基本金組入額	809	2,030	消費収支差額	180	2,049
消費収入の部合計	24,390	2,330	基本金取崩額	639	638

(注) は計算書式上のマイナス表示、 は比較上のマイナスを表示(以下同じ)。

前年比は平成18年度決算との比較です。

### 3. 資金収支計算書の状況

#### 【主な資金収入・支出】

消費収支計算書で説明した項目については割愛させていただきます。

#### (1) 借入金等収入

教育振興資金（学校債）を募集し、5億1千万円の資金調達を行いました。

#### (2) 借入金等返済支出

学校債の定期償還及び繰上償還等で、3億6千6百万円の償還を実施しました。

#### (3) 施設・設備関係支出

施設関係では、受変電設備更新工事に4千2百万円、基礎研究棟給水方法変更改修工事に3千4百万円ほかで、合計2億4千2百万円、設備関係では、I V R - C Tアンギオシステム2億7千7百万円、心臓血管撮影装置心血管アンギオグラフィシステム2億2千4百万円、医用画像情報システム2億1千1百万円（うち、補助金交付額1億5百万円）、液体クロマトグラフ質量分析計5千8百万円（うち、補助金交付額2千5百万円）、透過型電子顕微鏡3千9百万円（うち、補助金交付額2千6百万円）、動物用MRIシステム3千6百万円（うち、補助金交付額2千4百万円）ほかで、合計13億7千1百万円を支出しました。

#### (4) 資産運用支出

将来の退職金債務に対する財源を確保するため退職給与引当特定資産に5億円、医学教育海外交流引当特定資産に3億5千万円、医学部奨学事業引当特定資産に1億円の合計9億5千万円を計画どおり積立てました。

資 金 収 支 計 算 書

(自)平成19年4月1日

(至)平成20年3月31日

(単位：百万円)

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	金 額	前年比	科 目	金 額	前年比
学生生徒等納付金収入	4,583	171	人件費支出	11,441	4
手数料収入	158	1	教育研究経費支出	1,498	176
寄付金収入	719	88	医療経費支出	8,201	14
補助金収入	1,429	100	管理経費支出	535	65
資産運用収入	970	128	借入金等利息支出	0	1
資産売却収入	0	9	借入金等返済支出	366	381
事業収入	207	28	施設関係支出	242	2,692
医療収入	16,995	282	設備関係支出	1,371	275
雑収入	122	94	資産運用支出	950	300
借入金等収入	510	351	その他の支出	3,007	382
前受金収入	3,929	424			
その他の収入	3,751	2,006			
資金収入調整勘定	7,726	48	資金支出調整勘定	2,383	293
前年度繰越支払資金	5,838	552	次年度繰越支払資金	6,257	419
収入の部合計	31,485	1,862	支出の部合計	31,485	1,862

(注) は計算書式上のマイナス表示、 は比較上のマイナスを表示(以下同じ)。

前年比は平成18年度決算との比較です。

#### 4. 貸借対照表の状況

##### 【主な増減】

##### (1) 資産の部

資産総額は、前年比4億1千7百万円増の593億1千5百万円となりました。

退職給与引当特定資産は、積立分が増加し56億3千8百万円となりました。これは、退職給与引当金期末残高の76.8%に相当します。

流動資産のうち、現金預金は4億1千9百万円増の62億5千7百万円となりました。

##### (2) 負債の部

負債総額は、前年比5億7千2百万円減の183億1千5百万円となりました。

退職給与引当金は、取崩しと繰入れを行った結果、前年比1千4百万円増の73億3千7百万円となりました。

(3) 正味財産は、前年比9億8千9百万円増の410億円となりました。この結果、資産総額に対する正味財産の割合は69.1%となり、前年度より1.2ポイント増加しました。

なお、情報公開の一環として、平成19年度財務関係書類（財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書及び監査報告書）を本学のホームページ上に掲載しています。

(<http://www.kanazawa-med.ac.jp> 「事業報告及び決算について」)

貸借対照表

平成20年3月31日現在

(単位：百万円)

資産の部			負債の部		
科目	金額	前年比	科目	金額	前年比
固定資産	49,497	130	固定負債	11,344	21
土地	3,098	0	長期借入金、学校債	4,007	35
建物、構築物他	23,824	1,222	退職給与引当金	7,337	14
教育研究用機器備品他	5,820	392	流動負債	6,971	551
図書	1,217	10	短期借入金、学校債	400	180
退職給与引当特定資産	5,638	500	未払金	2,363	298
減価償却引当特定資産	8,100	0	前受金他	4,208	433
施設拡充引当特定資産	1,000	0	負債の部合計	18,315	572
海外交流引当特定資産	500	350	正味財産の部		
奨学事業引当特定資産	300	100	科目	金額	前年比
流動資産	9,818	287	基本金	61,124	169
現金預金	6,257	419	消費収支差額	20,124	820
未収入金	3,357	114	正味財産の部合計	41,000	989
貯蔵品他	204	18	負債の部及び正味財産の部合計	59,315	417
資産の部合計	59,315	417			

(注) 減価償却額の累計額は28,383百万円、徴収不能引当金の合計額は32百万円です。

退職給与引当金の額は、期末要支給額7,337百万円の100%を計上しています。

